

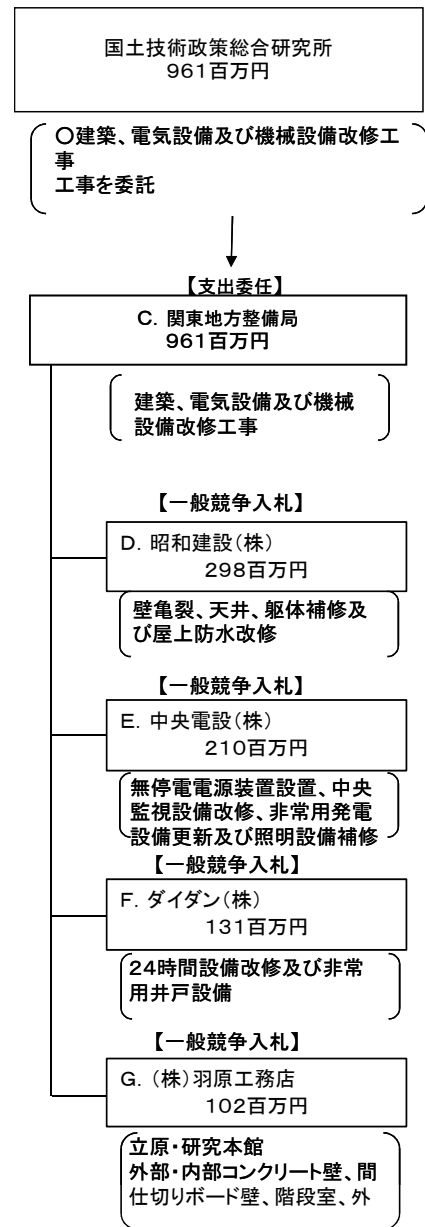
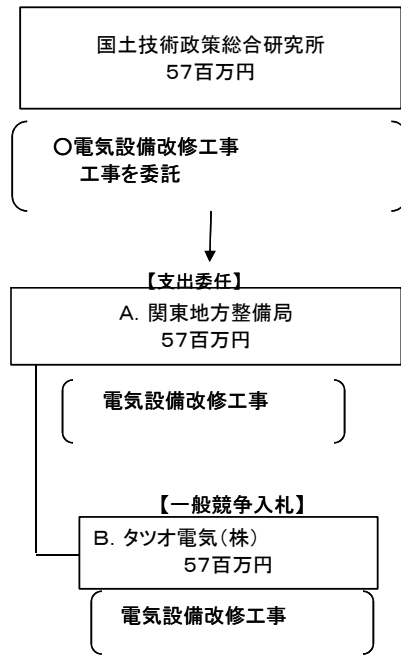
平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名		土木関連施設整備費、建築関連施設整備費		担当部局庁	国土技術政策総合研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		H13～		担当課室	施設課		課長 持丸修一	
会計区分		一般会計		施策名	41 技術研究開発を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国土交通省が所管する国土技術政策の企画立案と密接に関係のある総合的な調査、研究開発に必用となる研究施設の適正な維持管理(執務環境を含む)のための改修を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		調査、試験、研究及び開発等に伴う実験を実施するにあたり、支障のないように研究用施設の整備を図る。庁舎等で老朽化が著しく、機能不備が想定される建築・電気・機械設備等について改修を行う。 23年度は経年劣化による照明器具の更新を行い執務環境の向上及び省エネ対策を行った。 また、東日本大震災により損傷した研究本館、共同実験棟等の壁、天井、窓、配管、非常用発電設備、空調機械設備、照明灯等の危険・不具合箇所の改修・更新等を現在行っているところである。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		予算の状況	当初予算	57	57	57	54	51
			補正予算	2	-	961	-	
			繰越し等	-	-	-241	241	
		計	59	57	777	295	51	
		執行額	56	56	776			
執行率(%)	94.6%	99.5%	76.3%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
		研究施設、庁舎等の機能の維持及び回復(多種多様な設備・施設があり、定量的に評価できない)		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		平成21年度に研究施設給水設備、直流電源装置、照明器具及び錠前、平成22年度に多重無線設備及び冷温水ポンプの改修を行った。平成23年度に電気設備改修及び震災対応として建築、電気、機械設備改修を関東地整に委託した。(同上)		活動実績(当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト		-		(円/ -)	算出根拠			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	施設整備費	54	51					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	-	-	-					
	計	54	51					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・東日本大震災により損傷を受けた建物等の危険・不具合箇所の改修・更新は、執務環境の回復に必要不可欠な措置である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先は、国土交通省関東地方整備局であり、一般競争入札により工事の請負業者を決定している。 ・予算は東日本大震災により損傷した建物、設備の危険・不具合箇所の改修等に充てている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・東日本大震災において損傷した建物・設備の危険・不具合箇所の改修・更新により庁舎としての所要の機能確保を図った。 ・照明器具改修は執務環境の向上、省エネの手段となった。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・支出先となる請負業者の決定については、一般競争入札により決定しており、入札情報の幅広い周知等、競争性の確保に努めた。</p> <p>・防災体制の確保ならびに日常業務に使用する最低限必要な庁舎の整備等について、優先的に対応した。</p> <p>・業務発注を計画するにあたって中長期整備計画を作成し、必要性・優先度の精査を厳しく行った上で、限られた予算下で実施箇所を検討するなど、効率化に努めた。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 引き続き、官庁営繕部の策定した「筑波研究施設整備(修繕)計画」に従って整備対象施設を重点化した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き、対象の重点化を図る。また、引き続き、発注に当たってはコストを精査の上縮減を図るとともに、引き続き競争性・透明性の高い発注先の選定方式の導入を図る。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	官庁営繕部が策定した「筑波研究施設整備(修繕)計画」に従い、施設整備の緊急度が極めて高いものに対象施設を重点化している。また、価格競争や企画競争により引き続き競争性・透明性を確保していく。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0431	平成23年行政事業レビュー	0397

※平成23年度実績を記入【平成23年度 当初分】

【平成23年度 一次補正分】



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.関東地方整備局			E.中央電設(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	支出委任	57	工事費	研究本館電気改修工事	210
計		57	計		210
B.タツオ電気(株)			F.ダイダン(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	研究本館(立原)電気設備改修	57	工事費	実験棟機械設備改修工事	131
計		57	計		131
C.関東地方整備局			G.(株)羽原工務店		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	支出委任	961	工事費	研究本館(立原)建築改修工事	102
計		961	計		102
D.昭和建設(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	研究本館建築改修工事	298			
計		298	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					